

地域特性を活かした空き家の利活用

学生デザイン コンペティション 2023

Student Design Competition 2023

主催 (一社) 鳥取県建築士会 青年・女性合同委員会
協賛 (一社) 日本建築学会 中国支部鳥取支所
協力 (株) 建築資料研究社/日建学院

KaikeOnsen



Shikano



地域特性を活かした 空き家の利活用



デザインコンペの狙い

総務省の調査によれば、2018年の日本の総住宅数は6,242万戸で、2013年に比べて179万戸(3.0%)増加し、その内、空き家数は846万戸(13.6%)で、2013年に比べて26万戸(3.2%)増加しています。

また、鳥取県においても、2018年の住宅の空き家数は39,400戸(15.3%)で、全国平均を上回っている状況であり、自治体が空き家対策において苦慮している実態がうかがえます。

このように、増加し続ける空き家の利活用に関して多くの自治体では、実態把握を終え、空き家バンク等が存在するものの、自治体の人員不足もあり、あまり効果的に運用されていません。

以上のことから、第7回目となる「学生デザインコンペティション2023」においても、鳥取県内の実在する空き家物件を対象に、その地域特性を活かした空き家の利活用を計画することを求めます。

設計条件

鳥取県内（鹿野町・皆生温泉）に実在する空き家物件より1つを選定し、その地域特性を活かした利活用を計画すること。

（母屋の活用について検討し、敷地内の他の建築物の活用については自由とします。）

応募資格

鳥取県内の高等学校並びに高等教育機関等の建築系あるいは住居系の学科に在籍している方。

チームは1～4名以内で構成し、同一人物が複数のチームに参加することは認めません。

応募状況

応募作品 22組
 内訳 個人5作品
 グループ17作品
参加人数 51人
参加校 3校
 内訳 鳥取大学
 米子工業高等専門学校
 産業人材育成センター

入選作品

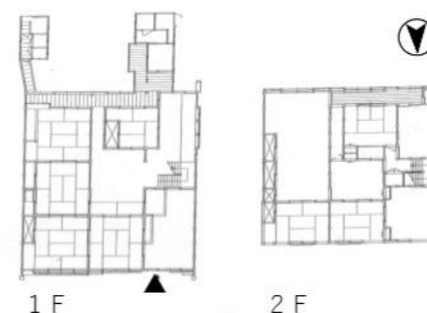
最優秀賞 1点
優秀賞 2点
審査員特別賞 2点
奨励賞 1点

審査委員 (敬称略)

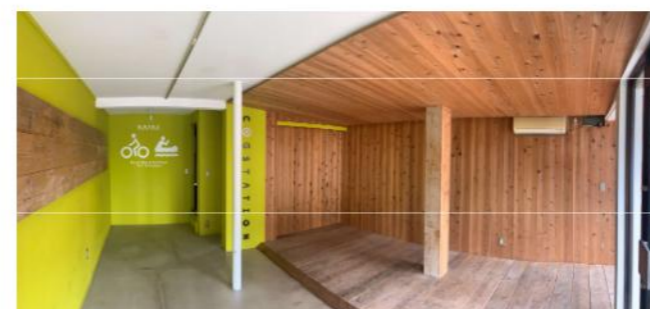
委員長 長谷川 義明
 (公社) 鳥取県宅地建物取引業協会 会長
委員 張 漢賢
 (公立) 鳥取環境大学 環境学部 教授
委員 松山 久
 (一社) 鳥取県建築士会 会長

設計対象物件

鳥取市鹿野町



米子市皆生温泉



最優秀賞 奨励賞

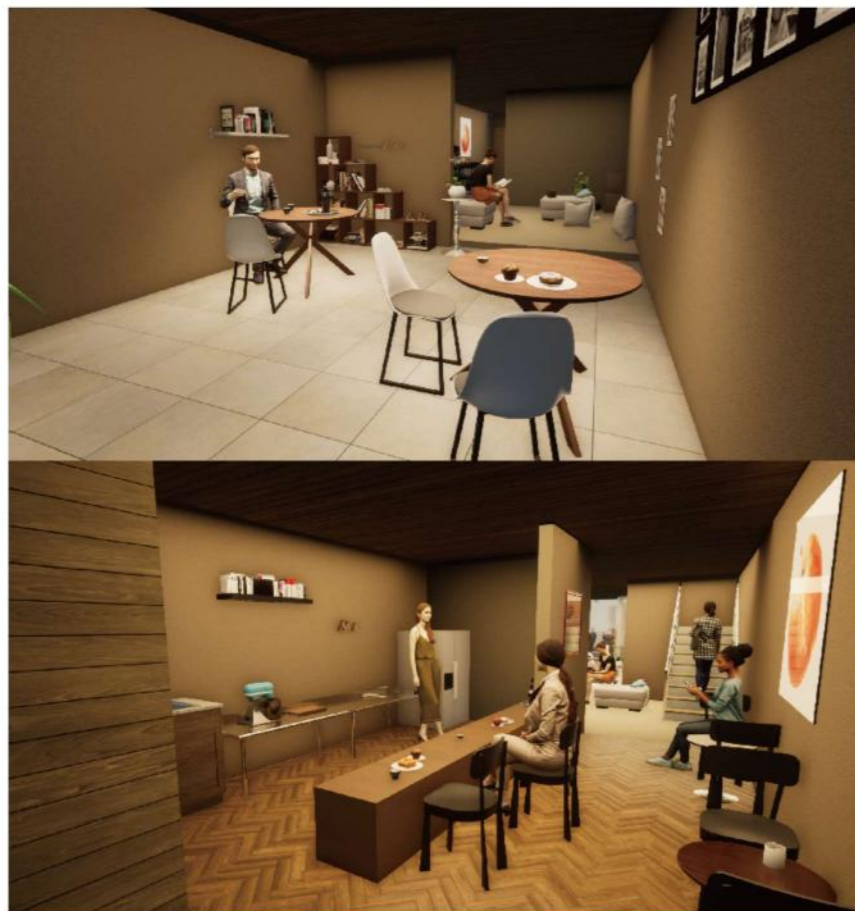
幻映の湯広場

物件：皆生温泉

国立米子工業高等専門学校
松本遥 門脇倅 鳥井陽菜

最優秀賞

奨励賞



01. 対象建物周辺について

鳥取県米子市の皆生温泉は、山陰を代表する温泉地であり多くの観光客が癒しを求めて訪れる場所
対象建物周辺には多くの温泉旅館・ホテルが建っている

旅館・ホテル
料理・飲み店
無料足湯

02. 提案する空間

既存
リラックス空間
・温泉
・旅館
・ホテル

+

「光」を用いた非日常空間
・映画
・プロジェクションマッピング
・ライトアップ

癒しを求めて皆生温泉を訪れた人々が、より特別なひと夜を過ごせるような空間

03. 全体図

1F: 日中カフェ / 夜バー 2F: 倉庫 / 投影室

料理店 道路 皆生温泉観光センター 足湯 広場

04. 空間における「光」について

対象建物の小窓を通して様々な光を映し出す。

- ①大きなスクリーンに映画を投影する
- ②プロジェクションマッピングで道路を彩る

対象建物 前面道路 観光センター (広場部分)

05. 詳細

2階平面図
1階平面図

06. 年間スケジュール

春	梅雨	夏	秋	冬
3月~5月	6月	7月~9月	10月~11月	12月~2月
・広場で春祭り ・月2回上映	・淀江傘を貸し出し ・プロジェクションマッピングのみ	・広場で夏祭り ・月2回上映	・10月31日の夜はハロウィンイベント ・月1回上映	・イルミネーション ・プロジェクションマッピングのみ

鹿野めぐ輪

人と町がつながるサイクルスポット

物件：鹿野町

鳥取大学

木村幸太郎 本田未依奈



◆地域特性

周辺の人口
 全体：3452人
 0-14歳：356人
 15-64歳：1,721人
 65歳以上：1,375人
 65歳以上が約40%の超高齢社会
 64歳以下の生産年齢人口は年々減少

公共交通機関でのアクセスが難しい
 周辺観光地が点在
 城下町であるため道幅が狭い



◆コンセプト

自転車、サイクリスト・観光客・
 地元住民が繋がる場所。



観光客	サイクリスト	地元住民
レンタサイクル、電動自転車、自転車カウチボード、ペーパークーラー等の陳列あり。 公共交通機関があまり使えないのを決断し、新しい観光スタイルの提案。	旅の疲れを癒せる、自転車の整備にも対応できる拠点としての機能。 サイクリングロードの中継地点もあり、人々との出会いの場。	イベントスペースやカフェで定期的なイベントを行う。 地元産に由来し、人々の交際の場としての機能も持つ空間を目指す。

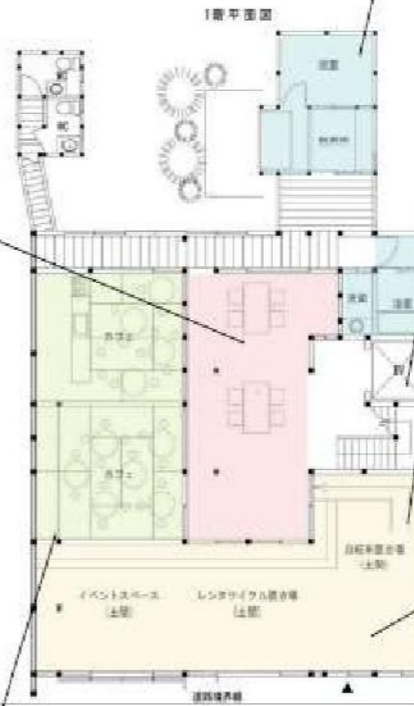
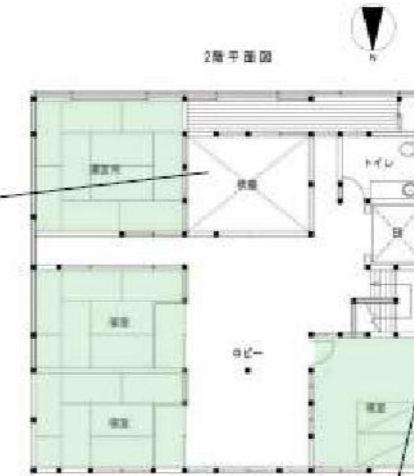
南側には広い吹き抜けを設けることで太陽の光や風を部屋全体に十分に届けることができる



1階中央のスペースには回転車を設置する。サイクリストや観光客、地元住民の集まる場所となるほか、回転車のほか外観効果を利用した美味しい料理を提供できる



サイクリングの疲れは靴を脱いでゆったり利用できるカフェで癒せる。ここでは地元食材を利用した軽食やドリンクを提供する



2つの浴室のうち1つは外の景色を見ながら入浴できる露天風呂。温泉地の雰囲気を味わうとともに長時間のサイクリングで疲れた身体を癒し明日への旅を始めることができる



お年寄りや体の不自由な方も気軽に利用できるようにスロープやエレベーターを設置

1階入ってすぐの場所には土間が広がるサイクリスト用のバイクボックスや簡単な整備ができる機材の設置、レンタサイクルの拠点として利用する。カフェの手前の土間はイベントスペースになっており、地元特産品を販売したり、地元住民が店を出すなど状況によってさまざまな使い方に対応できる



優秀賞

本の館

～皆生の泊まれる海の家～

物件：皆生温泉

国立米子工業高等専門学校

徳田来夏 松原ひな子 宮本漣

優秀賞



対象敷地

鳥取県米子市皆生4丁目1-20



敷地周辺の特徴

- ・美しい松林や海の景色が広がる。
- ・海水浴場、海浜公園などの観光資源。
- ・温泉街の中に位置し、観光客が多い。
- ・敷地正面には、観光センター、足湯がある。

01 背景

私たちの生活において、スマホ、パソコンなどの電子機器は不可欠である。しかし、それらから離れた生活は私たちの時間に空白を与えてくれるのではないだろうか。

ここで、その空白に読書を取り入れるとする。読書は文字というアナログなツールから人々の五感を高め、想像力を働かせる。このことから、デジタル・デトックスと読書の融合に注目した。



02 設計主旨

図書館とゲストハウスを併設した“本の館”を提案する。海水浴場に面する皆生の温泉街は観光客や地元住民で賑わうことが予想される。本通り沿いの図書館は通行者を観光地の賑やかさから落ち着いた空間へと誘う。海を連想させる本を所蔵し、図書館利用者の海への関心や、皆生への好奇心を高める。

また、サイクリングロードを生かしてゲストハウスの機能を設けることで、サイクリングする人々への利便性を高め、他の宿泊者との交流も盛んになる。

電子機器から離れ、本に囲まれながら泊まれるゲストハウスは皆生の新たな憩いの場となる。

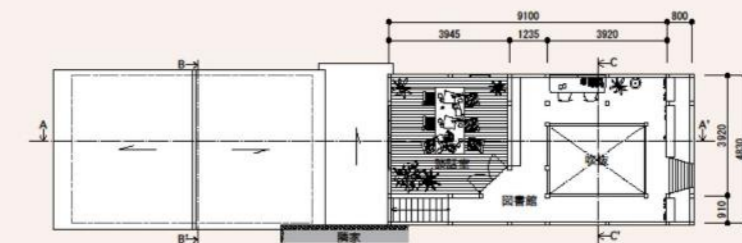
03 “本の館”の仕組み（運営体制）

図書館

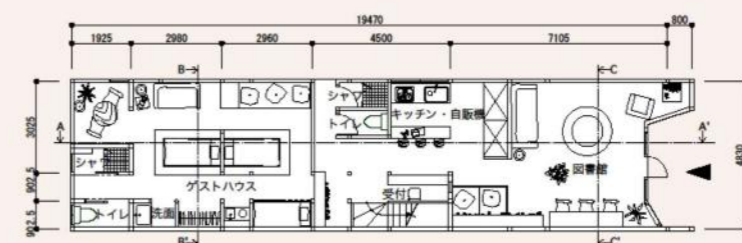
運営者：本好きの店主により管理・運営する。
所蔵図書取り扱い：貸出は不可とし図書館内で閲覧。
→“皆生の地で読む価値”を大切にするため。
キッチン・自販機：キッチンでの調理可能、自販機では軽食や飲み物を購入できる。

ゲストハウス

運営者：図書館と同様。
チェックイン：受付でカードキーを受け取る。
設備・寝室：6人分の二段ベッドは個人スペース、その他の水回り、休憩室等は共有スペース。



2階平面図 1:100



1階平面図 1:100



審査員特別賞

温 すなお

-旅行弱者のためのゲストハウス-

物件：皆生温泉

鳥取大学

梅川倭 小谷野愛子

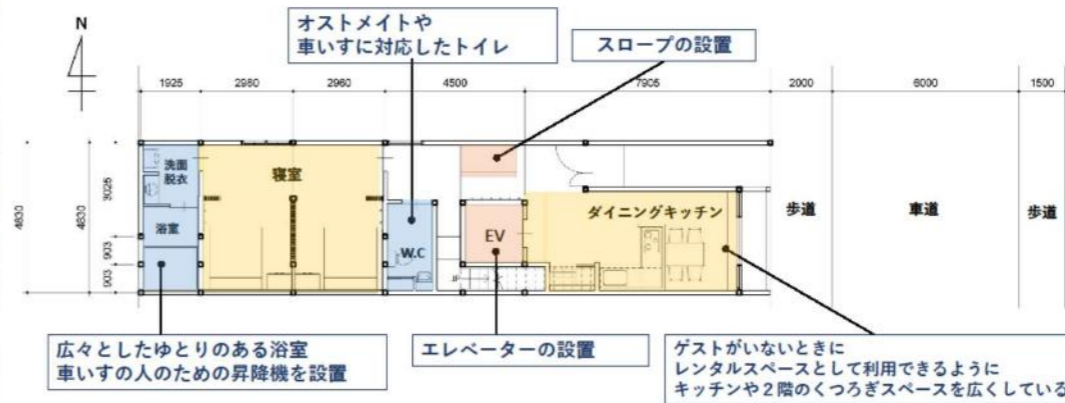
審査員特別賞



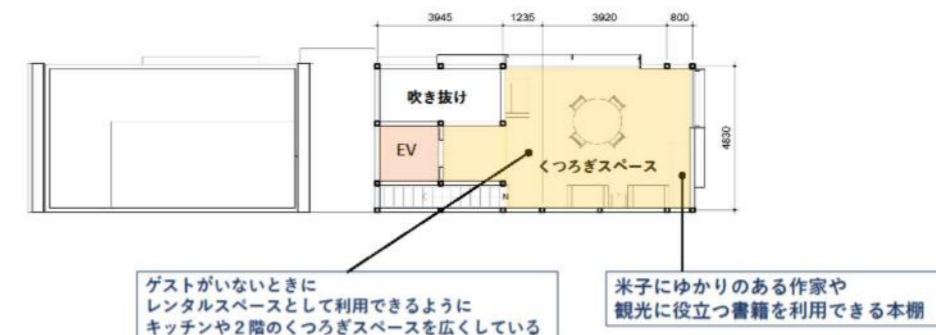
温 すなお -旅行弱者のためのゲストハウス-

湯舟に浸かって語らう何気ない時間を大切な時間にしてほしい。
すべての人が温泉を楽しみ、
誰もが「すなお」になれる温かい宿泊施設

1FL

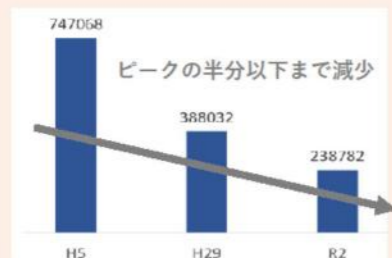


2FL



1. 皆生温泉の現状と課題

1-1. 旅行者数の減少



鳥取県が発表した入湯者数の調査より

1-2. バリアフリーへの対応不足

都道府県別のバリアフリー認定制度に登録された宿泊施設

順位	都道府県	件数
1位	兵庫県	77
2位	北海道	48
3位	東京都	30
42位	鳥取県	4

皆生温泉においては該当施設なしであり温泉地としての魅力の低下につながる

2. コンセプト

旅行弱者のためのゲストハウス



車いすやオストメイトなどの身体障害者や知的障害者などの旅行が困難な人

温泉利用が難しい
まわりの視線が気になる
バリアフリーへの対応

温泉地としての魅力向上

空き家活用としての景観向上

誰もが使える家族や少数での旅行への対応誰もが楽しめる

旅行弱者が家族や親しい人と気兼ねなく温泉や旅行を楽しめる
1棟貸しゲストハウス

3. 運営方法

ゲストがいる：ゲストハウス



ゲストがいない：レンタルスペース



・オートロック（パスコード方式）
ゲストが管理人に到着連絡を入れ、その時にパスコードを伝える
・基本素泊まり
泊の値段を抑えつつ、地産地消を促す
・管理人
管理人は地元の住民

Spa town kitchen

～様々な目的で貸し出せるレンタルキッチンスペース～

物件：皆生温泉

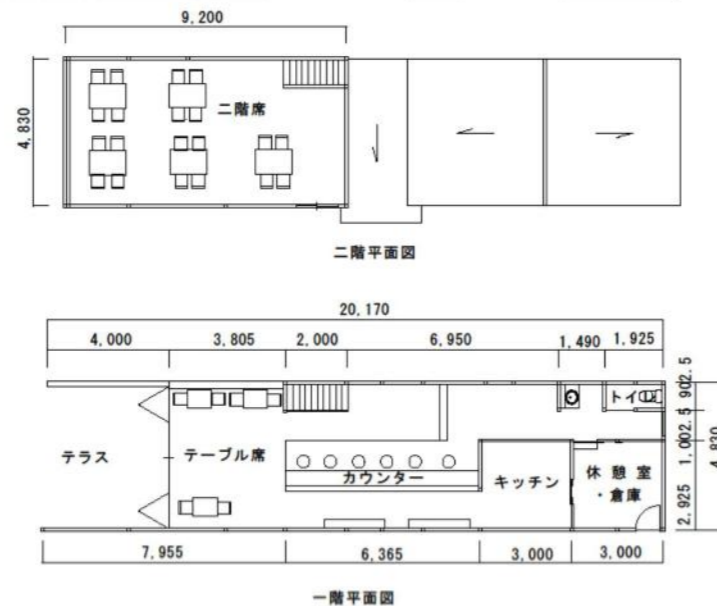
国立米子工業高等専門学校

安藤大智 植村洸祐 佐々木悠作 初芝滉太



～様々な目的で貸し出せる
レンタルキッチンスペース～

○平面計画



○提案内容

本提案のレンタルキッチンは主に飲食店のトライアル営業をターゲットとしている。そのため、客席を設けて、20人ほどのお客様を収容できる規模のレンタルキッチンとした。

東西に長いスペースは飲食店としてよくある形のスペースであるため、どのような飲食店でも使いやすい。

飲食店のトライアル営業以外にも、イベント、パーティー、様々な業種の方が人を呼ぶために使うスペースとしても使用できる。

例) 周辺に住むひとたちが楽しめるイベントや、皆生温泉の観光客なども呼べる飲食店のトライアル営業など、

○運営方法

米子市か鳥取県がキッチンを管理して、レンタルする人が金を払って、キッチンを貸し出す。

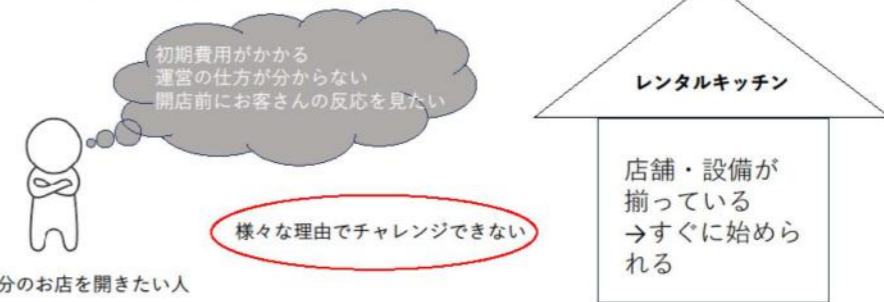
レンタル料はレンタルする期間と目的によっても変化例) 飲食店のトライアル営業の1週間のレンタル
→売上げの12%or1週間の固定料金

備え付けの棚を用意して、基本的に食器も貸し出す。こだわりがある人は、自分で持ってくる。

カウンター席で客との交流を増やす。

旅館をイメージしてカウンター席の高さを2段上げた。また、靴を脱ぐことでリラックスできる。

レンタルキッチン



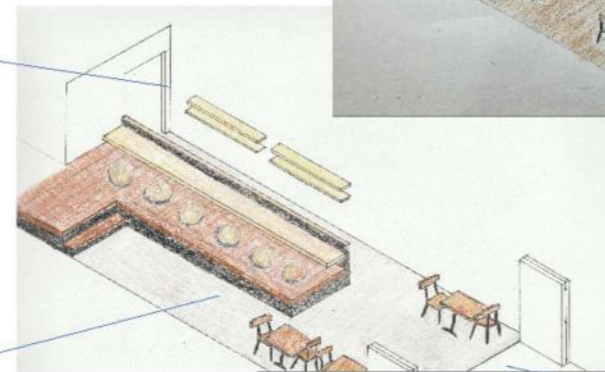
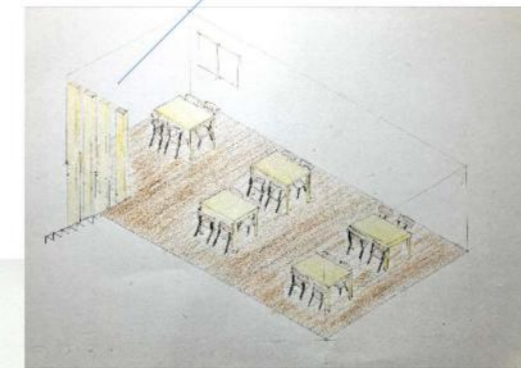
周辺敷地



敷地は交差点に近く交通量が多い、また、観光センターが目の前にあるため観光客相手に宣伝しやすい。

住宅街からもほど近い場所にあるため、地元の人にも来店しやすい。

階段横の壁をルーバーにして、見通しをよくする。



天気の良い日は折りたたみ戸を全開にすることで解放感を持たせる

入選

Biblia

～命を守る図書館～

深谷捷太
勝田将真
鳥取大学

コンセプト
『命、知識、地域』
3つの『命』がつく言葉をもとに高齢化社会が深刻な現状です。すべての人が受けたいながら学びを深められる場所をつくりました。また、地域には図書館がないため新たな場所として、全ての世代が楽しめる『命』を軸に人と人、人と物が結びつくと考えてきました。

『命』
高齢シニアや障がい者で訪立意識を高める。地域全体で訪立意識をもち命を大切にしたい。

『知識』
読書、雑誌、訪立についての本など様々な種類を置くことにより幅広い年代と年齢層の人でもいろいろな知識を身につけられる。

『地域』
なか、全国を通じて地域活性化を促進し、訪立意識を高める。幅広い年代で訪立意識を高める場所をつくりたい。

物件：鹿野町

思い出の家

もうひとつのおかえり

三村浩大
神田秀
平井菜月
鳥取大学

思い出の家
もうひとつのおかえり

自然の恵みと触れあえる環境で暮らすことが出来る。訪立意識を高める。地域全体で訪立意識をもつ。命を大切にしたい。幅広い年代と年齢層の人でもいろいろな知識を身につけられる。

物件：鹿野町

アナログ

鹿野の町と手書き製図で分かる古き良き文化

産業人材育成センター
横山和輝
谷口桃子

アナログ

鹿野の町と手書き製図で分かる古き良き文化

物件：鹿野町

コインランドリーカフェ

～食に旬と彩りを楽しめるマルシェ～

産業人材育成センター
荒田郁恵

コインランドリーカフェ
～食に旬と彩りを楽しめるマルシェ～

地域特性
鳥取県米子市の海辺に位置する養生温泉は、温泉街で海岸の景観と大山の眺望が良い。夏季は海水浴が楽しめる。過半数が日本産の産物が入る観光客も多く訪れる豊かな自然に囲まれた都市です。

01 コインランドリー
洗濯機5台・乾燥機6台設置。ライフスタイルに合わせて左右それぞれ洗濯や乾燥が同時完了するという便利な存在です。施設では、スマホのアプリを使って選んでいる機械の状況確認や操作、決済までできるサービスを導入し遊んで利用できる設備が充実。

02 カフェ
くつろげるスペースとフリーWiFiや電源設備のカフェが併設しSNSや動画撮影しながら過ごせたり多様な方法でドリンクをオーダーできる。またドリンクや軽食も楽しめる。お茶コーナー、ソファも設置。

03 マルシェ
県内で採れた野菜やフルーツで作った特産品や加工品など多彩な商品が並び、月1回マルシェ市場を開催。近郊で採れた野菜や卵のパン屋、地元の人の手作りした雑貨などを販売。

04 ソーイング作業台
1台のミシン・2台のアイロンを自由に活用できるスペース。

物件：皆生温泉

最優秀賞 奨励賞




幻映の湯広場

国立米子工業高等専門学校
松本遥 門脇倅
鳥井陽菜

優秀賞





鹿野めぐ輪
人と町がつながるサイクルスポット

鳥取大学
木村幸太郎
本田未依奈

優秀賞





本の館
～皆生の泊まれる海の家～

国立米子工業高等専門学校
徳田来夏 宮本滯
松原ひな子

Collection List
応募作品一覧



KaikeOnsen



愉☆皆生温泉物語

鳥取大学
森田隼人
古澤駿弥



RUNNER
の/による/のための施設

国立米子工業高等専門学校
熊中昇陽 辻壮太
鐵本怜士真 村岡拓真



動物の宿

国立米子工業高等専門学校
佐藤政大 似内暁彦
スミヤダシ・ビルグーン



Friendship&Chillout
大人の社交場

産業人材育成センター
重松尚志
前田宇海



ちょい寝ホテル
お疲れサラリーマンの
お昼寝処

産業人材育成センター
伊藤哲也



海がのぞける水族館
皆生の海・現在(いま)を
のぞいてみよう!

産業人材育成センター
富田愛琉

審査員特別賞



温 すなお
旅行弱者のためのゲストハウス

鳥取大学
梅川倅
小谷野愛子

審査員特別賞



Spa town kitchen
様々な目的で貸し出せる
レンタルキッチンスペース

国立米子工業高等専門学校
安藤大智 植村洸祐
佐々木悠作 初芝滉太

入選



Biblia
～命を守る図書館～

鳥取大学
深谷捷太
勝田将真

入選



思い出の家
もうひとつのおかえり

鳥取大学
三村浩大 神田秀
平井菜月

入選



アナログ
鹿野の町と手書き製図で分かる
古き良き文化

産業人材育成センター
横山和輝
谷口桃子

入選



コインランドリーカフェ
食に旬と彩りを楽しめる
マルシェ

産業人材育成センター
荒田郁恵



Shikano




シルバーサークル鹿野

鳥取大学
辻龍太
田中克弥



古民家宿
with わんわん

国立米子工業高等専門学校
小林夕莉 高橋叶羽
堀尾真緒 本間汐莉




鹿野食堂

国立米子工業高等専門学校
田原多喜莉 谷口萌紬
中筋友梨 山田果奈



植物のくらし

国立米子工業高等専門学校
朝久桃伍



ジビエペットフード

産業人材育成センター
遠藤伶音
住田誠弥



ナノハナの集い
若い人は住み易く、高齢者は健康でふれ
あのある町づくりを図るシェアハウス。

産業人材育成センター
渡邊佳奈子



日本昔話伝承館

産業人材育成センター
法橋竜平
原田滝弥

2023/10/15 (sun)



予選：倉吉体育文化会館

2023/11/12 (sun)



本選：上井コミュニティセンター

Judgment Method 審査方法

今回、第7回目となる「学生デザインコンペティション2023」では、前回に引き続き「空き家の利活用」をテーマとしました。実在する空き家は、鳥取市、米子市にご協力いただきました。鳥取県内の建築系あるいは住居系の学生から22作品の応募がありました。

10月の予選において、プレゼンポスターにより審査員より選出された9作品が本審査へ進みました。

11月の本審査では、パワーポイントや模型を用いた7分間のプレゼンにより、審査されました。

審査項目は①コンセプト、②デザイン(独創性・審美性)、③プランニング(課題の反映・実現可能性)、④プレゼンテーション力(まとめ方・発表)の4項目です。各5点の20点満点で採点を行い、最優秀賞などを決定しました。また、奨励賞として、会場参加者の投票数の多かった作品を選定しました。

(一社)鳥取県建築士会 青年・女性合同委員会

女性委員長 内田 恵子 青年委員長 藤原 圭佑

Overall Review 全体講評

今年も「空き家の利活用」をテーマに、参加者である学生達が何を提案し、それが如何にプランに反映され、かつ如何に分かりやすく他者に伝える事ができたかを審査員で意見交換しながら各賞を決定させて頂きました。

その提案内容は、地域特性を配慮して観光客誘致に配慮したもの、地域に住む住人に主眼を置いて災害から住民を守る事に思いを寄せたもの、身心に障害を負われた方がご自身のペースで観光できる事に力点を置いたものと様々でありながら、かつ、適切に私達が抱える様々な社会問題解決にチャレンジするものでした。

プレゼンテーションが終わって参加者の強い熱意の伝わるコンペティションであったと思います。

(公社)鳥取県宅地建物取引業協会 会長

審査委員長 長谷川 義明